

第十五回帝國議會 衆議院 漁業法案(政府提出)(井上角五郎君外十四名提出) 委員會會議錄(速記)第一回

委員成立

明治三十四年二月二十一日議長ノ指名ヲ以テ本委員十八名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

井上 角五郎君 林 喬君 龍野 周一郎君
西原 清東君 佐藤 通代君 富永 隼太郎君
藤 金作君 西谷 金藏君 長坂 重孝君
永井 嘉六郎君 橋元 勲君 磯部 八五郎君
木村 誓太郎君 門馬 尙經君 高川 定次郎君
高木 正年君 武市 庫太郎君 白井 哲夫君
明治三十四年二月二十二日午後零時二十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

井上 角五郎君 林 喬君 龍野 周一郎君
西原 清東君 西谷 金藏君 長坂 重孝君
橋元 勲君 木村 誓太郎君 門馬 尙經君
武市 庫太郎君 白井 哲夫君
年長者木村誓太郎君投票管理者トナリ無名投票ヲ以テ互選ヲ行フ委員龍野周一郎君ノ發議ニ依リ投票ヲ用井上角五郎君ヲ委員長ニ白井哲夫君ヲ理事ニ推薦スルニ決セリ
依テ當選者左ノ如シ
委員長 井上 角五郎君 理事 白井 哲夫君

會議
明治三十四年三月十四日午前九時三十三分開議
出席委員左ノ如シ
井上 角五郎君 白井 哲夫君 長坂 重孝君
永井 嘉六郎君 西谷 金藏君 磯部 八五郎君
佐藤 通代君 武市 庫太郎君 木村 誓太郎君
林 喬君 西原 清東君 橋元 勲君 勲君
高川 定次郎君 藤 金作君 富永 隼太郎君
門馬 尙經君 龍野 周一郎君 隼太郎君
出席政府委員左ノ如シ
農商務總務長官 藤田 四郎君 農商務省水產局長 牧 朴真君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
北海廳技師 和田 健三君 農商務省參事官 松崎 壽三君
○委員長井上角五郎君 ソレデハ是カラ開會致シマス、ドウカ最初ニ此政府案ノ方ニ就イテ、御質問ノアル御方ハ御質問ニナルヤウニ、ソレカラ速記ヲ

ヤツテ居リマスカラ、ドウカ發言ヲ御求メノ時ニハ、名ヲ呼ンデ戴キマセウ
○西原清東君 質問ヲスルヨリ先ヅ一般ノ御説明ヲ願フタラドウデセウ
(ソレガ宜シイト呼フ者アリ)

○政府委員牧朴真君 此漁業法案ハ最早此度迄デ、三回議會ヘ提出サレマシタルノデ、其大體ノ趣意ニ於キマシテハ、三回共格別ノ差ハゴザイマセヌ、最モ本年提出サレマシタモノハ、重ニ昨年提出致シマシテ貴族院ニテ修正サレマシタ、サウシテ衆議院ニモ廻ハサレマシテ、衆議院ニ於テ消滅致シマシタ、其當時ニ貴族院ニ於テ修正サレマシタ案ニ重ニ據リマシテ、大體其趣意ニ從テ編成シテゴザイマス、唯一箇所即チ第四條、第五條、此コトハ一昨年ノ案ニモ昨年ノ案ニモゴザイマセヌ、昨年ノ案デゴザイマスルト漁業ハ一即チ水面ヲ專用スル所ノ漁業ハ、免許ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居リマセヌデシタガ、本年出シマシタ所ノ此法案ニ於キマシテハ、第四條第五條ニ於テ水面ヲ專用スル漁業ニハ、免許ヲ與ヘルト云フ規程ヲ取リマシタ、其他少少、ノ修正ハゴザイマスルケレドモ、大體貴族院ノ修正案ニ據リマシテ、幾分ノ修正ヲ加ヘマシタニ過ギマセヌノデゴザイマス、ドウカ此旨御了承ヲ願ヒタウゴザイマス、尙御質問ノ點ガゴザイマスレバ、其際ニ至リマシテ一申上ゲルコトニ致シマス

○委員長井上角五郎君 ソレデ御質問ハ何所デモ御遣リニナツデ宜カラウト思ヒマスカラ、別ニ逐條デナクヤリマシテ、餘リ混雜スルヤウニナリマシタラ、其時ニ至テ改メマセウ
○白井哲夫君 此第五條ノ地先水面ヲ專用スル場合ヲ除クノ外トアル、此地先水面專用ト云フコトニハ、凡ソ習慣ニ據ルト云フノデアリマス、又此地地水面ト云フノハ一定ノ定義ガゴザイマス

○政府委員牧朴真君 御答致シマス、先ヅ地先水面專用ヲ許スノ趣意カラ御話ヲ致シマスガ、元來其漁村ニゴザイマスル所ノ漁場ハ、成ベク其漁村ニ漁業ヲサセマスル方ガ、實際將來ノ漁業並ニ水產物ノ蕃殖保護ノ點ニ於テ、餘程有利デアリマス、是迄慣行ノゴザイマスル所ハ格別、慣行ガゴザイマセヌデモ今後ハ其村ニ所謂地先ノ漁村ニ於テ漁業ヲサセルト云フコトニシテ、特ニ其村ニ許可ヲスルコトハ最モ必要デアルカラ、其慣行ノ有無ニ拘ハラズ——慣行ノアル所ハ格別デゴザイマスガ、慣行ノナイ所ト雖地先水面ヲ有シテ居ル所ハ、其地先ニ免許ヲ與ヘルト云フコトハ利益デアツテ、サウシテ水產物ノ蕃殖保護ヲ計ル上ニ於テモ、有利デアルト思フノデアリマス、サウシテ地先水面ト云フコトハ、別段ニ何間迄ヲ以テ地先水面トスル、或ハ水ノ深サ何丈迄ヲ以テ地先水面トスルト云フコトハ、別ニ定義ト云フモノハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス、是ハ即チ其漁村ニ於テ、或ハ何ノ方位ヨリ何

ノ方位ニ至ル何千間或ハ何百間ノ區域ヲ立テ、サウシテ漁場ヲ設ケタイト云フコトヲ願フテ來ル場合ニ、即チ行政官ガ調査シテ、此所ニハ慣行ガナイカ、他村ト入合等ノ關係トカ故障ノ有無等モ篤ト取調べ、又此村ニ是丈ノ區域ヲ許シテモ他村ニ防害ヲ與ヘナイカ、他ノ漁場ニ防害ヲ與ヘナイカト云フコトヲ調査シテ、サウシテ其願ノ區域ガ餘リ廣過ギルト思ヘバ、狹クサセルト云フヤウナ方針ヲ取ツテ、即チ願ニ依ッテ實地ノ調査ヲ致シテ、所謂事實ニ依ッテ免許ヲ與ヘヤウト云フ趣意デゴザイマシテ、別ニ地先水面ト云フ定義ハゴザイマセヌ

○林喬君 私モチヨット伺ヒマスガ、サウスルト唯今政府委員ノ地先水面ト云フヤウナモノニ向ッテハ、或ハドノ鼻カラ何處ノ鼻ト云フヤウナコトヲ見通シテヤルト云フヤウナコトデアッテ、從來ノ網代ト云フヤウナモノヲ、地先水面ト云フノデアリマスガ

○政府委員牧朴眞君 網代即チ漁場デゴザイマス、ソレヲ地先水面ト云フノデゴザイマス

○林喬君 モウ一ツ御尋シマスガ、第九條ノ水產動植物ノ蕃殖保護、其他公益上必要、公益上必要ト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスガ

○政府委員牧朴眞君 チヨット公益上ノコトヲ例ヲ舉ゲ申シマスレバ、或ハ港ヲ造ルトカ、堤防ヲ拵ヘルトカ云フ、必要ノ時ノ場合ヲ云フノデアリマヌ

○林喬君 尙御尋ネ致シマスガ、漁業ニ關係ハアリマセヌカ、此公益上ト云フノハ……

○政府委員牧朴眞君 漁業其物ノ種類デハアリマスマイガ、漁業場ノ取締リニ附イテ、必要ガ生ズルカモ知レマセヌ

○橋元島君 チヨット御尋シマスガ、區畫漁業ナリ定期漁業ナリノ免許ヲ受ケマスルト云フト、二十箇年丈ハ、其者ノ專用權利ニ屬スルト云フコトニナッテ居リマスガ、所デ一漁場ニシテ漁期ノ異ナル毎ニ、違フ所ノ漁業ヲシテ居ル例ガ澤山アリマス、或ハ夏ハ鮪網ヲ甲ノ者ガヤリ、ソレカラ冬ニナレバ鰯網ヲ乙ノ者ガヤッテ居ル、サウ云フ實際慣行ガアルノデスガ、サウスルト其場所ト云フモノハ、既ニ二十箇年ト云フモノハ、チャント自分ノ占有ニ歸シテ居ルコトニナリマス、一ノ場所デ甲乙丙ノ者ガ占有スルヤウニナリマスガ、其邊ノ區別ハドウ云フ手續キニナサルノデアリマスガ

○政府委員牧朴眞君 申上デマス、丁度御質問ノ通漁具ヲ定置スルト云フコトニナリマシテハ、同ジ場所デ重複スルコトガアリマス、或ハ春網、夏網、秋網、冬網デ、甲乙丙ト場所ハ同一デアルト云フコトハ實際デゴザイマス、ソレハ所謂定置漁業ニ附イテ、其漁業ノ種類ニ附イテ免許ヲ與ヘルノデアリマスカラ、抵觸スルコトハナイ積リデゴザイマス

○委員長井上角五郎君 許ストスレバ何方ニ許スノデスカ

○政府委員牧朴眞君 ドチラデモ許スノデス

○委員長井上角五郎君 許ストスレバ何方ニ許スノデスカ

○委員長井上角五郎君 サウスルト、一所デ二人三人デ専用スルコトガアルノデスカ

○政府委員牧朴眞君 左様デゴザイマス

○白井哲夫君 第九條ノ「又ハ之ヲ取消スコトヲ得」漁業權ノ免許ヲ得タ以上ハ、二十箇年ハ專用スルコトガ出來ル、從ッテソレニハ相當ノ自分ノ利益ヲ保護スルタメニ、設備ヲナスコトガ必ズアルデアラウト思ヒマス、是ヲ公益上必要ナリトシテ取消サル場合ニハ、保證スルコトガアリマスノデスカ

○政府委員牧朴眞君 ソレハ保證ハシマセヌ積リデゴザイマス

○橋元島君 サウスルト私ハモウ一遍、先キニ尋ネマシタコトニ附イテ確メマスガ、先ニ此漁業組合ト云フモノニ向ッテ、地先水面ノ専用ヲ許可シテ居リマス所デ、其後トニ附イテ第三條ノ漁業ヲ出願スル者ガアリマシテモ、ソレハ其場所デ以テ許可ヲ與ヘテアルモノデアラカラシテ、ドウシテモ許可スルコトガ出來ナイヤウニナッテ來ルト思フ、サウ云フ場合ハ一切政府ハ許可ヲ與ヘナイト云フ御趣意デアリマスガ

○政府委員牧朴眞君 御答致シマスガ、矢張前申上デマシタ通ニ、漁業ヲ許可シテ居ル其所ヘ以テ往ッテ、更ニ定置漁業ヲ起スト云フ願ガ出テ、ソレガ必要デアル差支ナイトスレバ、定置漁業ハ許シマス、故ニ第四條ノ専用ノ漁業ヲ除イテ、水面ノ免許ヲ與ヘルコトニ書イテアリマス、即チ定置漁業區畫漁業ヲ除クノ外ノ水面ノ専用ヲ許ス譯デスカ、後トデ願ッテモ定地漁業、區畫漁業ニ於テ、他ニ差支ガナケレバ免許ヲ與ヘルノデス

○白井哲夫君 特許ヲ與ヘテ置イテ、公益上ソレヲ取上ゲル場合ニ、其損害ニ對シテ保障ヲスルト云フコトハ、普通ノ法則ニナッテ居ルト思ヒマスガ、漁業法ニ限ッテ特許ヲ與ヘテ相當ノ設備ヲシテ居ルニ拘ハラズ、無條件デ取消スト云フノハ酷ナヤリ方ト思ヒマスガ、ドウ云フ理由ガアッテサウスルトノデスカ

○政府委員牧朴眞君 近イ例ヲ言フト、鑛業條例ノ第十九條ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ特許ヲ取消スト云フコトガアル、此場合ニ於テ、損害ノ賠償ヲ要求スルコトハ出來ヌト書イテアル、行政上ノ特別法ニ於テハ、大抵保障ヲ與ヘヌコトニナッテ居リマス

○林喬君 附則ノ三十二條ニ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、政府ノ見込デハ何時頃ニナリマスガ

○政府委員牧朴眞君 此法律案ガ通過致シマスルト、實際ノ取調ガ餘程必要デ、定置漁業、區畫漁業ニ附イテハ、調ベルコトモサウ面倒デナイカモ知リマセヌガ、慣行ニ依ッテ爲スモノハ、慣行ノ有無、或ハ各漁村ニ特發シテ居ル實際ノ景況ヲ篤ト取調ベナケレバ、容易ニ之ヲ實行シマスルト、却ッテ各地ノ紛擾ヲ招キマス、故ニ期限ハ何時ト未ダ定マツタ考ハアリマセヌガ、少ナクトモ一年以上ハ掛リマセヌト、取調ガ出來マイト思ヒマス、縦シ出來マシタ所デ、尙省令ヲ拵ラヘ、訓令ヲ拵ラヘ、地方官トモ協議ヲスルコトニナレバ、

隨分暇取ルコトニナリマスカラ、少ナクトモ一年後ニ於テ、勅令ノ期日ヲ定メテ貰ヒタイト思フ

○武市庫太君 漁業權ノ範圍ト云フノハ、ドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員牧朴真君 漁業權ヲ使用スル範圍デ、漁業權ノ種類ト云フガ如キモノモ入リマス

○武市庫太君 漁業ノ方法トハ違ヒマスカ

○政府委員牧朴真君 方法モ入リマス、總デノ漁業ノ方法モ含有シテ居ルノデス

○橋元島君 此三十三條、三十四條ノ訴願權限デスガ、茲ニハ願ヲ出シテ拒否セラレタ直接ノ者ガ、訴願ヲ出スコトガ出來ルガ、第三者タルベキ者ハ、訴願ヲ爲スコトガ出來ルトモ出來ヌトモ見ヘヌヤウデスガ、政府ハ出來ルト云フ考デアリマスカ

○政府委員牧朴真君 此處ガ昨年ノ案ト違ッテ居ル所デ、昨年ノ案ニハ「拒否」ト云フ字ガ書イテアリマシテ、利害關係人ヨリ訴願スルコトガ、出來ルヤウニナッテ居リマシタガ、當年ハ書イテアリマセヌノハ、現ニ此法案ト同時位ニ提出サレヤウト云フ、行政訴願行政裁決法ト云フモノ、趣意ニ基イテ、此二十三條二十四條ガ出來マシタノデ、唯今ノ御話ノ第三者ノ關係人ハ、二十三條ノ方デハ訴願ハ出來マセヌガ、二十四條ノ方デ違法ノ許可デアッタト云フヤウナ場合ニハ、行政訴訟ヲ起スコトガ出來マス、即チ第三者ガ第二者ノ與ヘラレタ許可ガ違法デ、己ノ權利ヲ障害サレタト思フトキハ、行政訴訟ヲ起スコトガ出來マス

○西原清東君 違法ト云フノハ、ドウ云フ場合ヲ指サレタノデスカ

○政府委員牧朴真君 今日マデノ文字ノ使方デ御話ヲシマスガ、憲法ノ何條カニ依ッテ、違法處分ニ依リ權利ヲ障害セラレタルトキハ、行政訴訟ヲ起スト云フコトガ憲法ニアリマス、從ッテ其後書キマス條文ニハ、違法トカ違法處分ニ依リ權利ヲ障害セラレタト云フコトニ使ッテアリマス、所謂法律命令ニ違ッテ處分ヲスル、ツレガタメニ權利ヲ障害サレタト云フコトニ、今日マデ解釋シ來ッテ居リマス

○西原清東君 尙伺ヒマスガ、既ニ他人ノ權利ヲ障碍スルト云フノ處分、尙其上ニ法律命令ニ違反スルト云フノ、此二點ヲ要スルト云フ御趣意デゴザイマスカ

○政府委員牧朴真君 左様デゴザイマス、是マデサウシテ居リマス、唯權利障碍バカリデハナイ、即チ違法處分ヲスルガタメニ權利ヲ障碍サレタ、此二點ニ……

○西原清東君 尙伺ヒマス、此漁業法デ言ヒマスレバ、ドウ云フ場合デゴザイマスカ

○政府委員牧朴真君 申上ゲマスガ、幾ツモ例ハゴザイマセウガ、極近イ例ヲ申シマスルト、甲ノ漁業場ノ許可ヲ得ルトキニハ、何村ノ承諾ヲ得ナケレ

バナラヌ、御承諾ヲ得ル答デアルノニ、承諾ヲ得ザルモノニ向ッテ矢張免許ヲ與ヘタ、ツレガタメニ其處分ガ權利ヲ障碍スルニ當ッタト云フヤウナコトガ、近イ例デアラウト思ヒマス、爲スベキ手續ヲ爲サズシテ處分ヲシタヤウナコトガ、チヨット近イ例デゴザイマス

○橋元島君 此二十三條二十四條ノ先キノ御説明ハ分リマシタガ、併ナガラ其御説明ノ要旨ト云フノハ、不日訴願訴訟法ト云フ法律ガ出ルカラシテ、其法律ハ斯ウ云フヤウナ趣意デ以テ出ス法律デアルカラ、ツレニ依テ本年ノ法案ニハ、斯ウ書イタト云フコトニ聞エマスガ、ツレデハ十分私共ハ満足シマセヌノデ、利害關係ノアル者ニ對シテ、訴願ヲ許サヌト云フ所ノ理屈ガ何レニアルカト云フコトヲ、一ツ御聽申シタイ、ツレニハ許セバ斯ウ云フ害ヲ生ズルカラシテ、斷ジテ許サヌト云フ、何カ其理由ガアルナラ御聽申シタイ、マダ未然ノ出ナイ法律デアルカラ……

○政府委員牧朴真君 別ニ理由モアリマセヌガ、今日マデ第三者カラ訴願シマスルト云フコトハ、總テ許シマセヌ、昨年漁業法ニ於テ始メテ利害關係人ト云フコトヲ書キマシタ位デ、今日マデノ行政上ノ法律デハ、總テ拒否セラレタモノハ、所謂營業免許ヲ拒否セラレタモノハ、始メテ訴願スルコトガ出來マス

○長坂重孝君 政府委員ニ伺ヒマスガ、三條ノ「水面ヲ區畫シテ」ト云フノト四條ノ「水面ノ專用」ト云フノ區分ハ、ドウ云フ……

○政府委員牧朴真君 是ハ文字上デハ、チヨット「專用」ト云フ文字ハ疑ガ生ジマスガ、實際ハ第三條ノ「水面ヲ區畫シテ」ト申シマスルノハ、或ハ海苔簀ヲ立テルトカ、或ハ牡蠣ノ養殖場ヲ拵ヘルトカ云フノデ、第三條ノ「水面ヲ區畫」ト云フモノトヲ定メル、第四條ハ早く申スト、今日マデ唱ヘ來ッテ居ル漁場デゴザイマス、ツレガ文字ノ書キ具合ガ、漁場デハ穩カデゴザイマセヌカラ、已ムヲ得ズ水面ヲ專用スル、一方ハ水面ヲ區畫シテ海苔簀トカ牡蠣ノ養殖場ヲ設ケマス

○長坂重孝君 尙伺ヒマスガ、漁場ト大イナル違ヒハナイヤウデゴザイマスガ、水面ヲ專用スル、其專用漁業ニハ免許ヲ得タ以上ハ、他ノ漁業者ハ其處ニ入レナイト云フ權利ヲ持チマスカ

○政府委員牧朴真君 左様デゴザイマス

○長坂重孝君 尙伺ヒマスガ、サウスルト先刻橋元君カラ御尋ガアリマシタガ、種類ヲ限定シテ免許ヲ與ヘルト云フコトハ、矢張水面ヲ專用スル權利モ合セテ居ルコトト思ヒマスガ……

○政府委員牧朴真君 ツレハ別ノ積リデゴザイマス、第三條ノ水面區畫ト云フコトハ所謂漁場ノコトハ全ク別デゴザイマスカラ、漁場ニ附イテ種類ヲ限定シ、或ハ其漁業ノ種類ヲ限定致シマシテ、總テデハナイ、何々ノ漁業ト云フモノハ除ク、斯ウ云フ條件ヲ附ケテ許可ヲ與ヘル、斯ウ云フコトデス

○長坂重孝君 尙申シマスガ、漁業ノ種類ニ拘ハラズ專用ノ權ヲ與ヘタ場合

ニハ、モウ其他ノモノハ、一切其處へ這入ッテ、漁業スル權利ヲ得ルコトハ、出來ナイト云フコトニナラウト思ヒマス

○政府委員牧朴眞君 第三條ノ所謂「漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區畫スル」ト云フ、漁業ハ矢張許シマスル積リデス

○委員長井上角五郎君 ソレデ此漁業ノ種類ヲ限定シテナイ——限定シテ是ヲ專用スルト云フコトヲ許シ、其外ノ者ハ誰ガ這入ッテモ宜イト云フ……

○政府委員牧朴眞君 左様デゴザイマス

○西原清東君 各條ニ就イテ御進行ニナッタラドウデスカ

○永井嘉六郎君 少々御尋致シマス、二十二條ノ水面組合ヲ設置スルト云フコトハ、漁業組合法ニ許シマスルノデアルガ、此水面組合ト云フモノハ漁業法ニ依ラズシテ、重要物産同業組合法ニ依テ、出來ルモノデハアルマイト思ヒマスガ……

○政府委員牧朴眞君 チョット申上デマス、今日ノ解釋デハ重要物産同業組合法ニアリマセヌ、重要物産同業組合法ハ重ニ所謂製造ヲスル、販賣ヲスル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、此水面漁業ノ改良發達、即チ水產上ノコトニ附イテハ其中ニ製造ハ這入リマスケレドモ、純粹ナル漁業ト云フモノハ、同業組合法ニ這入ッテ居リマセヌ、故ニ此處ニ水面組合ニ關シテハ、重要物産同業組合法ノ規定ヲ準用スト、明カニ示シタノデアリマス

○委員長井上角五郎君 如何デゴザイマセウカ、政府案ニ就イテ御質問ガナカラネバ、議員カラ出シマシタ案ニ付イテ又御尋ネデモアレバ——然シ答ヘル者ハ……

○佐藤通代君 チョット伺ヒマスガ、此十七條ノ命令ト云フノハ、之ハ主務大臣カ、又ハ地方官ノ訓令デスカ

○政府委員牧朴眞君 是ハ矢張勅令省令ノ積リデゴザイマス

○委員長井上角五郎君 モウ質問ハ宜シウゴザイマスガ

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 宜シケレバ是カラ討議ヲ致シマスガ、其前ニ政府案ヲ本ニスルカ、議員提出案ヲ本ニスルカト云フコトデスカ、私ハ政府案ヲ本ニスシテ議事ニ掛ラウト思ヒマス

來ノ慣行ニ依リ「ト入レテ、ソレカラ」水面ヲ專用シ「其間ニ」又ハ漁業組合ニ於テ其地先水面ヲ專用シテ漁業ヲナスノ權利ヲ得ムトスル」ト云フノハ法文ノ通り、又第二項「行政官廳ハ」ノ下へ「慣行ニ依ルモノヲ除クノ外ハ」ト文字ヲ入レル、第二項ニ就イテチョット此間御相談ヲシタコト、變リマシタ點ハ「種類ニ拘ハラサル慣行アルモノハ此限リニアラス」トシマスルト、種類ニ拘ハル時ニハ、例令ヘバ四種類ノミ許サレマスルト、之ヲ限定スルコトガ出來テ、三ツトカニツツトカニ限定セラル、ト、其場合ニハ慣行ヲ打破スル眞ガアル、之ニ對シテ適當ナ文字ガナイカト云フ、井上君ノ御心配ガアリマシテ、色々攻究シマシタガ、唯慣行ニ依ルモノヲ除クノ外、即チ種類ニ拘ラザル慣行ガアレバ其通り、又種類ヲ限定シテ專用スルノ慣行ガアレバ其通りト云フ、詰リ慣行アルモノハ慣行ニ基キ、慣行ナクシテ地先水面ノ專用ヲ漁業組合ニ許スト云フ時ニハ、行政官廳ガ限定スルコトヲ得ルト云フ、詰リ第五條ノ政府案ニアリマスル精神ヲ、其儘第四條ニ挿入レテ修正シタノデゴザイマス

○委員長井上角五郎君 ソレデハ今ノデハイカヌ、私ハチョット念ノタメニ、今ノ修正ニ就イテ自分ノ意見ガゴザイマス、過日特別委員ノ協議會ヲ開カウト云フコトデ集ッテ席デ、斯ウ云フヤウニ修正スル積リデアル、斯ウ云フコトデ略前日決シテ別レタ、ソレガ又元ノ通ニ今西原君カラ修正アカッタ、ソレナラバ詰リ特別委員ノ協議ノ成立ッテ居ナイト云フ問題ト見テ、此處デ議論スルヨリ外ハナイガ、唯此間カラ頻リト議論シテ爭ッテ點ガ、是ナラバ能ク分ルト思ヒマスカラ、ドウカ西原君モ是ニ御譲リニナルコトヲ希望シマス、意味ガ違ッテ居ルナラバ格別、サウ違ッテ居ナケレバ是ニ讓ッテ貰ヒタイ——ソレデハ一ノ修正案トシテ出シマセウ、第四條、五條ノ唯今西原君ノ修正ニ對シテ、意味ハ違ハヌト思ヒマスガ、法文ノ明カニナルガタメニ、茲ニ私が此席カラ修正案ヲ出シマス、ソレヲ讀ミマス、第四條「水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ントスルモノハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ前項ノ免許ハ漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ヲ專用セムトスル場合ヲ除クノ外從來ノ慣行アルニ非サレハ之ヲ與ヘス」第五條「漁業組合ニ於テ其地先水面ノ專用ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得從來ノ慣行ニ依リ前條ノ免許ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ慣行ニ依リ漁場ノ區域及漁業ノ種類ヲ定メ之ヲ免許ス」

○橋元勲君 是ハ「行政官廳ハ其ノ慣行ニ依リ」トシタ方が能ク分ラウト思ヒマスガ、如何デセウ

○委員長井上角五郎君 成程「其ノ」ノ二字ハ加ヘルコトニ致シマセウ——西原君ハ之ニ御譲リニナッテハドウデスカ

○西原清東君 譲リマセウ

○政府委員牧朴眞君 私ハ御話ガ大抵極ッタヤウデゴザイマスカラ、御質問申シテ置キマス、確メテ置キタイト云フニ過ギナイ、此所謂原案ノ第四條ノ

「行政官廳ハ漁業ノ種類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得」斯ウ書イテアレバ、即チ慣行ノ漁業デモ慣行ニアラザル、新規ノ地先水面ノ許可ヲ與ヘルコトニシテモ、總テ漁業ノ種類ヲ限定スル、限定スルタメニ慣行ヲ破ル恐レガアル、慣行ハ矢張慣行ハ從テヤラナケレバナラス、斯ウ云フ御趣意デ唯今ノ修正案ガ御提出ニナツタモノデアル、斯ウ解釋スルノデゴザイマスガ、果シテサウデゴザイマスカ

○委員長井上角五郎君 サウデス、詰リ地先水面ヲ專用スル場合ニハ、是ニハ是丈ノ限定ヲ加ヘテ許可シナケレバナラヌト云フコトヲ、行政官ノ必要デ認メルト勿論據ナイケレドモ、地先水面デアラウガ何ンデアラウガ、慣行ニ依ッテ許可スル場合ニ於テノ區域漁業ノ種類ナルモノハ、今日ノ慣行ヲ破ルコトハ出來ナイ、勿論慣行以外ノモノニ附イテハ即チ地先水面ハ同様ナモノデスケレドモ、其他ハ慣行ヲ破ルコトヲ許サヌト云フノデアアルカラ、行政官廳ノ免許ニ依テ、總テ慣行ノアルモノハサウ云フヤウニ許ス、三種類ノ慣行ガアレバ三種類許シ、四種類アレバ四種類許スト云フコトノ意味デ、修正ガ成立ツタノデス

○委員長井上角五郎君 夫デハ唯今ノ修正案デ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 サウスルト第六條ニ移リマス

○西原清東君 第一項ハ原案デ、第二項デ「免許ヲ受ケタルモノ、申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得ト云フヤウニシテ、趣旨ハ同一デアアルガ少シ文字ヲ加フル、民法ノ契約編デハ、當事者ノ契約デ更新スルコトヲ得ト云フ場合ニハ、當事者ノ契約デ出來ルノデアアルカラ、夫デハ宜シイガ、人民ト政府トノ間ハ願ニ依テスル場合デアルト、矢張免許ヲ受ケタルモノ、申請ニ依リ更新スルコトヲ得ルニハ、被免許者タルモノガ申請スル事實ガ必要デ、其實ニ依ッテ總テ許スト云フコトヲシテ、行政上ノ實際ニ於テハ公益上不都合ノナイ以上ハ、許スノガ常態デゴザイマスカラ、實際ノ害ハ法文ノ通りデナイガ、此文字ヲ加ヘテ置クト權利ガ明カニナツテ、更新ヲセント欲スレバ、申請ガ必要デアルト云フコトヲ、明カニスル利益ガアラウト思ヒマス

○武市庫太君 免許期間ヲ更新スルコトヲ得ト云フハ、更新セヌノガ本躰デアルガ、取除デ更新スルヤウニナルノデスカ

○政府委員牧朴眞君 二十箇年ト云フ期限デ、本案ハ出來テ居ルノデスカ、尙其以上ハ斷續シテ願ッテ來ルモノガアレバ、更新シテ更ニ免許ヲスルト云フ意味デ、尙更新スルコトガ出來ルト云フコトデ、別ニ御話ノヤウナ趣意デハナイノデス

○橋元昂君 西原君ノ修正ニ賛成デス、趣意ハ同ジデアアルガ、明カニナルト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 高木君カラ、本日ハ病氣ノタメ出席ガ出來ヌカラト云フコトデ、修正案ガ出テ居マス、之ヲ諸君ニ御披露シテ、宜シイ所ハ取ル

ト云フコトニシタラ宜カラウト思ヒマス、既ニ修正ニナツタ所モアリマスガ、第四條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ「但數個ノ組合聯合シテ若クハ二個以上ノ府縣道ノ組合ヲ聯貫シテ許可ヲ得ルトスル場合モ亦同シ」第五條本文ニ左ノ通修正ス「漁業免許ノ期間ハ從來ノ慣行ニ依リテ許可スルモノノ外ハ其期間ヲ十箇年以内トス但書法文ノ通」

○橋元昂君 第四條ニ一項ヲ加ヘルハ、事實必要ノヤウニ思ヒマスガ、政府ハ實際ニアルト云フコトヲ、御承知ニナツテ居ルノデアアルカ……

○政府委員牧朴眞君 慣行ニ依リ、漁業ノ種類ニ從ッテ、免許ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、矢張四條五條ノ規定ハ夫レデアリマス

○橋元昂君 然ラバ此趣旨ハ法案ノ中ニアルモノトシテ、必要ナイモノト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 夫デハ第六條ハ西原君ノ修正デ、別ニ御意見アリマセヌカ——夫デハ第七條ニ移リマス

○西原清東君 第一項ニ修正ガアリマス、共有ノ下「及」ヲ削ッテ「抵當ノ目的ト爲スコトヲ得但地先水面ノ專用漁業權ヲ處分スルモノハ行政官廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス」トスルノデ、二項三項四項ハ刪除シマス

○武市庫太君 チョット西原君ニ御尋シマスガ、政府案ニ依ルト、行政官廳ノ認可ヲ得テ効力ヲ生スル、相續ニ依ッテ漁業權ヲ得タモノハ、慣行ニ止マルト云フノ手續ノ規定ガアル、今修正ニナツタモノニ依レバ、其手續ノ規定ガナイ

○西原清東君 是ハ施行細則ニ關係致シマスカラ、本項ニ記載スル必要ハアリマセヌ

○政府委員牧朴眞君 唯今ノ修正ニ對シテ一言申述ベタイ、此漁業權ノコトハ、重ニ民法ノ貸借ノ方法ニ依リマシタモノデ、相續ト共有ト貸附ハ許スケレドモ、抵當ハ許サナイ、斯ウ云フ意味ニナツテ居ル、第二項ニ於テノ地先水面ノ專用ノコトハ、元々漁村ノ保護、水產物ノ蕃殖保護ノ爲メニ許スコトデアリマスカラ、之ヲ處分シテ他人ニ讓渡シ賣渡スコトニナツタナラバ、其地先水面ノ水產物ノ蕃殖保護ノ本躰ヲ失ヒマスカラ、漁業權ヲ賣渡スコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニ極メテゴザイマス、然ルニ今ノ修正案ニ依レバ即チ第一項ハ抵當ヲ許スト云フコトデ、之ハ今日ノ民法ニ於ケル貸借ノ方針ニ反ッテ居ルコト、考ヘマス、而シテ第二項ニ於テ行政官廳ノ認可ヲ受ケサヘスレバ、漁業權ヲ處分スルコトガ出來ルトアリマスガ、之ハ認可ヲスルトセヌトハ、行政官廳ニアルコトデアアルカラ、之ハ他日宜クナイト考ヘタナラバ、許可ヲセズシテ、其漁村ノ保護ヲスルコトモ出來マセウ、元來ガ地先水面ノ專用ノコトハ、漁村ノ保護、水產物ノ蕃殖保護ニ基イテ居ル譯デアリマスカラ、願クハ第二項モ原案ノ通、据置カレンコトヲ希望致シマス

○西原清東君 少シ修正ノ意見ヲ説明シテ置キタイ、抵當ヲナスコトヲ得ト云フ事柄ガ、民法ノ貸借ニサウ云フコトハナイカラ、抵當ヲスルコトガ出

來ヌト云フ比較論ガ、政府委員ヨリ出マシタガ、民法ノ貸借ハ其人ヲ信用シテ、アレニ使用サセルナラバ、土地ヲ荒スコトハナカラウトカ、瘠セサセルコトハナカラウトカ、其人ノ技能ヲ信用シテ貸シタモノデアリマス、故ニソレガ抵當トナツテ第二者ニ購買セラル、コトニナルト、地主ノ意思ニ反スルコトニナルカラ、抵當ト云フヤウナ事柄ハ、許サナイコトニナツテ居ルノデアリマス、漁業權ヲ政府ガ西原ナラバ宜イ井上ナラバ許サウト云フヤウニ、其人ヲ見テ漁業權ヲ許スト云フコトハナイノデアアル、故ニ民法ノ貸借ノ法文ヲ引張ツテ來テ、立論ヲセラル、ノハ、間違ッテ居ルと思ヒマス、又此抵當ヲ爲スコトヲ得ト云フノガ、實地必要ナコトデゴザイマス、漁業者ト云フモノハ、漁權ヲ賣ルトカ云フコトハ率ネアリマセヌガ、漁具ノ改良トカ或ハ數年間漁利ガ少クシテ生活ニ困ルトカ云フ場合ニ、抵當ニ入レテ一時金ノ融通ヲスルコトハ有勝チノコトデ、實ニ必要ナコトデアリマス、ソレヲ民法ト比較シテ抵當ニスルコトガ出來ヌト云フコトハ、何タル狹隘ノ意見デアラウト思フ、ソレカラ地先水面モ、成ベク其土地ノ者ニ限ッテノ漁權ヲ許シタイト云フ精神ハ、之ハ無論同感デアリマスガ、併ナガラ徹頭徹尾抵當ニモ入レサセナイ、或ハ貸借モサセナイ、讓渡モサセナイコトニ限リマスルト、頗ル不便宜ナコトニナル、今日ノ地方ノ漁民ニナルト、其村ノ財產家ナドニ金ヲ借ッテ網ヲ仕入レタリ、或ハ繁殖ノ計畫ヲ爲ストカ云フ場合ニハ、何ヲ擔保ニ資本ヲ拵ヘマセウカ、即チ漁權ヲ擔保シテ金ヲ作ルト云フコトハ、實地必要ナコトデ、サウ云フモノニ政府ノ許可ヲ受ケテ、處分ガ出來ルト云フ道ヲ開イタナラバ、資本家モ安心シテ金ヲ貸シテヤツテ、漁業ノ發達改良ヲサセルコトガ出來ルノデアアル、ソレヲ處分ノ權ヲ與フル時ハ、其漁業者ガ權利ヲ濫用シテ、尙行政官迄モ濫用スルト云フ心配ヲ懷イテ、絶對的ニ禁止スルト云フノハ、頗ル杞憂ニ失シタ御説デアラウト思ヒマス、故ニ私ハ獨リ衆議院ニ於テ此修正ガ通過スルノミナラズ、貴族院ニ於テモ是非通過スルコトヲ、熱心ニ祈ルモノデゴザイマスカラ、一言申述ベテ置キマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○委員長井上角五郎君 是ハ政府委員モ殊更ニ反對ヲ表セラレタヤウニ認メマスガ、諸君ハ如何デゴザイマス、御異議ガアリマセヌケレバ、次ニ移リマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長井上角五郎君 ツレデハ第八條

○西原清東君 此第八條ノ第一項ノ終リニ「但行政官廳ノ認可ヲ受ケ休業シタル時ハ此限ニアラス」ト加ヘタウゴザイマス、一箇年間漁業ニ著手セズ、引續キ二箇年間休業シタト云フ時ハ、行政官廳ノ認可ヲ受ケテ休業シタル時ニハ、決シテ權利ヲ喪失シナイコトニシテ置キタイ

○委員長井上角五郎君 如何デゴザイマスカ

(贊成)ト呼フ者アリ

○委員長井上角五郎君 ツレデハ第九條

○門馬尙經君 我ハ茲デ政府委員ニ質シマシテ、ソレカラ後ト自分ノ説ヲ述ベヤウト思ヒマス、此「公益上必要アリト認ムル時ハ」トアリマスガ、鑛業條例ニハ「公益ニ害アリ」ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、鑛業條例ト異ッテ居ルノハドウ云フ譯デアルカ、アノ條例ニハ害アリトアリマスケレドモ、固ヨリ此ナニガ鑛業條例ト關係シタコトデハナイケレドモ、同ジ農商務省ノ御調ベニナツタデアリマスルカラ、一方ハ害アリ一方ハ必要アリト云フコトニナルト、大層茲ニ差ガアルヤウニ思ヒマスケレドモ、其邊ハ別ニ御考モナカッタノデセウカ

○政府委員牧朴眞君 是ハ別ニ意味ノアルコトデハゴザイマセヌケレドモ、此漁業ノコトニ附キマシテハ、先刻モチヨット申上ゲタコトデゴザイマス、例ヘバ公益上必要ト云フコトハ、如何ナルコトデアルカト云フト、公益上必要アリト認ムト云フノハ、伏木港ナラ伏木港、其港ヲ拵ヘネバナラヌ、或ハ築堤ヲセニアナラヌ、サウシテ船ノ出入ヲ便利ニスル方ガ、公益上必要デアルト云フヤウナ場合デゴザイマシテ、早ク例ヲ申スト港ヲ造ルト云フヤウナ必要デゴザイマス、即チ其免許ヲ制限シ、若シクハ限定シナケレバナラヌ、其實際ノ事實上ヨリ起ツテ、公益上必要アリト、斯ウ書キマシタ

○門馬尙經君 然ラバ私が、之ヲ矢張鑛業條例ノ十九條カト思ヒマスケレドモ、チヨット何條カ忘レマシタガ、アレト同一ニ公益上ニ害アルトキハト云フコトニ修正シタイト考ヘマス、其理由ハ若シ此行政官廳デ必要アリト認ムルト云フコトニシテ居ッタナラバ、或ハ行政官廳ノ干渉ヲ招グコトハ餘程多カラウト思ヒマス、ソレヲシツカリト公益ニ害アリトシマシタコトナラバ、餘程此人民ノ權利ヲ保護スルコトハ出來ヤウト思ヒマス、ツレデ私が矢張鑛業條例ノ規程ト同ジニ、公益ニ害アリト云フコトニ修正シタイト考ヘマス、願クハ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス

○委員長井上角五郎君 サウスルト「蕃殖保護其他公益上必要」ト云フ「必要」ノ二字ガ削レテ「害」ト云フ一字ニナルノデアリマスナ

○門馬尙經君 公益ニ害アルトキハ「認ムル」ト云フコトヲ抜イテ仕舞ッテ「公益ニ害アルトキハ」ト、斯ウスル、是ハ鑛業條例ノ十九條カニサウナツテ居リマス

○委員長井上角五郎君 サウスルト「上」カラ「認ムル」マデ除イテ「害アル」ト云フ三字ガ這入ルノデスナ

○西原清東君 蕃殖保護ナド、云フ事柄ハ、公益上ノ進歩ノタメニ書イタ文章、アナタノ今ノ修正案ハ公益ヲ退歩サスル——退歩スルト云フ眞ガアツタ時ニハヤルト云フノデゴザイマスカラ、行政官廳ハ公益ニ害アリト認ムル時トハ、斯ウ往カナケレバナラヌ、水產動植物ノ蕃殖ト云フコトハ言ヘマスマイ、原案ノ儘ノ方ガ宜シイデセウ

○門馬尙經君 サウノ私少シ誤リマシタ、成程サウスルト私ノ主張スル所

ガ至テ淺薄ナ事ニナリマスカラ、矢張原案ニ賛成致シマス

(此條モズト異議アリマセヌト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 第十條(異議ナシト呼フ者アリ)第十一條(異議ナシト呼フ者アリ)第十二條、第十三條、第十四條、第十五條、第十六條——是マデ別段御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 ソレカラ第十七條ニハ高木君カラ斯ウ云フ案ガ出テ居リマス「漁業組合ノ規程及雇人雇主ノ取締リニ關スル規程」ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム「サウシマス、漁業ニ從事スル雇人及雇主ノ取締リノ外ニ、漁業組合ノ規程モ命令ヲ定ムルト云フコトヲ、茲ニ入レタイト云フ修正デゴザイマス、別段御賛成ハゴザイマセヌカ、ソレデハモウ高木君ノ案ニハ御賛成ガナイモノトシテ、第十七條ハ原案ニ極リマシタ、第十八條

○藤金作君 私ハ今朝ハ餘儀ナイコトデ少シ遅刻致シマシタ、質問ハ終リニナッテ居ラウト思ヒマスケレドモ、此十八條ニチヨット質問ヲ御許シニナルヤウニ……

○委員長井上角五郎君 御質問ニナッテ宜シウゴザイマス

○藤金作君 政府委員ニ伺ヒマスガ、此第十八條ノ精神デゴザイマスレバ、是迄一村ノ内大字甲ノ部落ハ浦ト稱シテ漁業ノ組合アルケレドモ、乙ノ大字ハ從前ノ村デアッテ、今ハ矢張大字デアルケレドモ、漁業ノ慣例ノ無イ處、然レドモ海面ニ接シテ居ル地域デゴザイマスレバ、此法律案ノ實施スル曉ニハ、漁業組合ヲ新ニ設ケテ其部落ノ區域ニ屬スル海面ニ、漁業ヲ是ヨリ新ニ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ、心得テ宜シウゴザイマスガ、矢張舊慣ニヨッテ、ソレハ許サヌト云フモノデゴザイマスルカ、ドウ心得マスデスカ

○政府委員牧朴眞君 ソレハ第十八條ヨリモ先刻御決議ニナリマシタ第四條、第五條ノ處デ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、丁度四條五條ガ、先刻御決議ニナリマシタ所ノ主意ニ據リマス、漁村ニ於テ漁業權ヲ持ッテ居ル慣行ガアレバ、即チ其慣行ニ依テ許シマスル、總テ慣行モ何モ無イ所ニ於テ、他ヨリ漁業ヲ致ス所ノ關係モナイ、其濱浦トカ云フ所ニ於テ、將來地先水面ノ漁業ヲ爲サウト思フ所ハ、ソレニ別ニ組合ヲ造ラセマシテ、サウシテ其漁業免許ヲ與ヘマスルノデス、詰リ御尋ノ通りノ主意ナンデス

○藤金作君 モウ一ツ伺ヒマス、其次ニハ漁業組合ヲ新ニ組織シテ、許可ヲ受ケルモノデハゴザイマセヌケレドモ、從來土地ノ慣行トシテ、此釣魚或ハ少サナ投網ト云フモノヲ以テ、自家用ノタメ或ハ遊樂ノタメニ、聊ノ漁ヲナスコトハ出來ル慣行ガアリマス、或ハ海藻ナドヲ聊カ之ヲ取り、又ハ農家肥料等ノタメニ海藻等ヲ撿集メテ、肥料ニ使用スルコトガ慣例トシテ許シテ居ル地方ハ、是ハ此組合ヘ加盟セナクテモ差支ナイコト、心得テ宜シウゴザイマスガ、是ハドウ云フカ、其制裁ガアルコトニナリマスガ

○政府委員牧朴眞君 ソレハ無論宜シイノデゴザイマスガ、即チ漁村若クハ

漁業、所謂地先水面ノ漁業ヲ受ケマスル時ニ、即チ四條ノ二項ニゴザイマス通、其漁場内ニ他村ヨリ來マシテ漁業ヲシマスルコトガアリマス、或ハ釣魚デゴザイマスル、又藻ヲ取ルト云フヤウナ事ノ慣行ガゴザイマスナラバ、丁度ソレ丈ノモノヲ除イテ其漁村ニ許ス、即チ種類ヲ限定シテ、制限シマシテ、漁村ニ許シマスカラ、矢張今御話ニナリマスヤウナ、是迄釣トカ或ハ藻ヲ採ルトカ云フコトヲシマスルコトハ、無論其組合ニ入レテ差支ゴザイマセヌ

○藤金作君 モウ一項伺ヒマスガ、私ハ他縣ノコトハ存ジマセヌガ、福岡縣ノ如キハ從前ハ漁業組合長カラ知事ノ認可ヲ受ケ、知事カラ訓令ヲ以テ達シテ居ルコトガゴザイマス、其條項ノ中ニ漁業組合ニ入ラズシテモ、遊樂若クハ自家用ノタメニ釣シ投網其他肥料材ノタメニ海藻採收ハ、本項ノ組合ニ加入スルニ及バヌト云フコトガ、明カニ條項ガ立テ、アルノデゴザイマス、サウシマスルト、今度ノ法律案ノ全條ノ中モ、矢張其地方々々ノ慣行ニ依テ許ルシタモノハ、本案ノ禁止スル所デナイト云フコトハ、明カニ唯今ノ答辯デ了解致シマシタガ、唯今私ガ述ベル通デ宜シウゴザイマスガ

○政府委員牧朴眞君 宜シウゴザイマス

○橋元昂君 唯今藤君ノ質問中ニ、採藻ト云フコトガアッタデスカ、藻ヲ採ルト云フコトハ、此漁業法案ニハ、關係ヲ私ハ引カヌモノデアルト、別途採藻規則トカ何トカ云フモノガ出來ルヤナイカト、私ハ思ッテ居ッタガ、採藻モ其中ニ這入リマスガ

○政府委員牧朴眞君 矢張這入リマス、第一條ノ水產動植物ノ——即チ此水產動植物ノ採捕ニ這入リマス

○門馬尙經君 私ハ今藤君ノ御質問デ心附キマシタガ、私ノ方ノ松川ト云フ浦ガアル、ソコデ何レモ隱居ナドガ釣ヲ垂レテ、サウシテ樂シデ居リマス、其松川一面ニ許サレテ仕舞フト、ソコデ釣ヲスルコトハ出來ヌト云フコトニナルト思ヒマスガ

○政府委員牧朴眞君 ソレハ差支ナイ、即チ差支ナイ譯ハ、漁場ヲ其浦ニ許シマス時ニ、是迄ノ釣トカ或ハ藻ヲ採ルトカ云フコトガ、他ニ慣行ガゴザイマスナレバ、ソレ丈ノモノヲ制限シテ許可シマスルカラ、矢張是迄ノ通デ差支アリマセヌ

○西原清東君 十八條ハ全部ノ修正ニナリマス即「漁業者ハ漁業ノ改良發達水產動植物ノ蕃殖保護其他共同ノ利益ヲ計ル爲メニ漁業組合ヲ設クヘシ其區域ハ行政官廳ノ指定ニ依ル」ソレカラ項ヲ分チマシテ「前項指定ノ區域ニ依リ難キ場合ニ於テハ關係同業者ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ組合ヲ設ク可シ」畢竟命令ノ二組合設置ノ主意ヲ取ッタノデゴザイマス、此區域ハ何分ニモ行政官廳ガ從來ノ漁村ノ狀態等ニ依リマシテ、適當ナル區域ヲ指定シマシテ、其指定シタ範圍ニ於テ組合ヲ設ケサセル、其制度ニ依リマシテ漁業ノ秩序ヲ保チ、共同ノ發達ヲ計ラシムルト云フノ趣意カラ、此修正案ヲ提出シタノデア

リマス

○委員長井上角五郎君 私ハ之ニ付イテ一ツ意見ガアルノダガ、マア外ノ御方ノ意見ヲ伺ヒマセウ

○橋元勲君 私ハチヨット質問ヲシテ見タイノデゴザイマス、此漁業組合ト云フモノハ、其漁業ノ種類ニ依ッテ漁業組合ト云フモノヲ、分チテ組織スルコトハ出來ル御考デアリマスカ、又漁業採藻一切、此法律ノ第一條ニ規定シテアリマス所ノ營業ヲナスモノヲ、悉ク網羅シタ所ノ組合ヲ組織シヤウト云フ趣意デアリマスカ、ソレヲ一應伺ヒタイノデアリマス、是ハ西原君ノ方ニ御聽キ申シマス

○西原清東君 唯今ノ御尋ネハ政府案ニ致シマシテ、又私ノ修正デモ同様ノコトデアリマスガ、詰リ漁業ノ土地ニ就イテ設ケル所ノモノハ、漁業ノ種類等ニ依ラズシテ、總テノ漁業者ヲ一括シタル組合トシ、サウシテ遠洋漁業トカ云フヤウナ、土地ノ區域ニ依ラザル分ハ、其種類ニ依テ組合ヲ設ケルト云フノ趣意デアリマス

○委員長井上角五郎君 此西原君ノ修正ニ私ハ反對ヲシテ、原案ヲ維持シタイノデ、ソレハ大要ヲ云ヘバ、西原君ノ趣意モ、原案ノ趣意モ、漁業組合ヲ設ケル、又設ケ方ニ附イテ行政官廳ノ干涉ヲ受ケト云フ方ハ、別段違ヒハゴザイマセデ、其趣意ニ於テ反對ヲスルノデゴザイマセヌ、唯政府案ハ漁業組合ナルモノヲ拵ヘテ置キ、一方ニハ水産組合ナルモノヲ拵ヘテ居ル、其水産組合ト漁業組合ヲ、西原君ノ案ハ一緒ニシヤウ、成程之ハ一緒ニスルノモツレ、利益ノアルコトデ、漁業組合ハ大キイ、ソレカラ製造家モ加ハリ、販賣者モ加ハルト云フコトニナレバ、色々大キクスルニモ利益ガアルコトデゴザイマセウ、又一方ニ第四條第五條ニ規定シタル慣行ニ依テ、地先水面ノ專用コトカラヤッタ上ニハ、漁業組合ナルモノハ強チ大キクシヤウト云ッテモ、大キク出來ナイ場合モアル、殊ニ漁業組合ナルモノハ、如何ナルモノカト云フ橋元君ノ御尋ハ、極ク此際ニ於テ適當ノ御尋デ、或ハ其地先ノ水面ヲ專用スルタメニ、漁業組合モアレバ又遠洋ト云フ言葉モゴザイマスガ、要スルニ種類ノ限ッテ漁業ノ組合其物ニ依ッテ、漁業ノ改良發達、水産動植物ノ發達保護、是レガ即チ同業組合——重要物品ノ同業組合ノ規則ニモ據ルベキ大キナ仕事ヲ合セテヤラソウト云ッテモ、ヤラセ得ナイ程小サナモノニシナケレバナラヌ必要モアルコトデアリマス、要スルニ西原君ノ御説ニシテモ、是迄ハ違ヒハゴザイマセヌガ、漁業ナルモノハ其漁業家ガ其漁業ノ權利ヲ維持シテ、漁業ノ權利カラ得ル所ノ利益ヲ得ルモノニ止メ、サウシテ水産組合ナルモノハ水産業ノ發達ヲ計ラセ、一方ハ區域ヲ從來ノ慣行若クハ狹イ所ノ他ノ一方ハ水産組合ハ場合ニ依レバ成ルベク廣クシテ、殊ニ海外ニ輸出スル漁品ナドト云フモノハ就中サウ云フ必要モアルカラト云フコトデアリマス、私共ハ二ツ別ニスルト云フ精神ヲ以テ、西原君ノ説ニ反對ヲシテ、原案ヲ維持シタイト思フ、是丈ガ私ノ意見デアリマス

○橋元勲君 私ハ此組合ノ方ハ、原案ノ方ガ宜カラウト思フノデゴザイマス元來漁業組合ト云フモノニ、小サキ水面ト云フモノ、權利ヲ與フルト云フコトニ、此法律ガ規定スルコトニナッテ居リマスルカラ、サウ區域ヲ大キウスル譯ニハ逆モ往カナイ、即チ大字トカ、若クハ大キウシマシタ所ガ、今日ノ所町村ノ區域ヲ超ユルコトハ出來マイト思フノデアアル、サウ云フコトニナリマシタナラバ、一方ニハドウデアアルカト云ヘバ、此水産ノ改良發達等ニ就イテハ、小サイモノニハ十分ノ利益ガナイ、即チ大キクスル方ガ利益ガアル、此法ハ水産ノ動植物ノ蕃殖保護ヲ盛ニスルコトニ於テハ、成ベク大キクシタイト云フ希望ガアル、又一方ノ地先水面ト云フモノニ、所有權ヲ與フルト云フコトヲスルニ、餘リ大キクスルト云フコトニナレバ、實際ニ於テ苦情ガ起ッテ、逆モ大キナモノニスルコトハ出來マイト、私ハ思フノミナラズ、其小サキ水面ノ專用權ヲ有ッテ居ルトコロノ組合ニアリマシテ、サウシテ其中ニ製造スルモノモアリ、販賣スルモノモアリ、種々ナ種類ノモノガ此組合ニ這入ッテ居リマシタナラバ、此組合會ト云フモノハ隨分葛藤ヲ生ジ、此組合ハ圓滑ニ往クマイト云フ眞ガアラウト思フ、ソレ故ニ是ハ原案ノ如ク此區域ナルモノハ少サイモノニ致シテ、サウシテ彼ノ小サイ水面ノ使用權ダケヲ是ニ與ヘ水産組合ト云フモノハ成ベク大キイモノニ致シテ、此水産動植物ノ蕃殖保護ヲ圖ラセルト云フコトニシマシタナラバ、利害ノ衝突モ起ラズ、利益ヲ完フスルコトガ出來ヤウト思ヒマスカラ、私ハ原案ニ贊成致シマス

○武市庫太君 井上君ノ御修正説ハ……

○委員長井上角五郎君 原案デス

○武市庫太君 命令的ニ設ケルト云フコトハ惡ルイ

○委員長井上角五郎君 サウデヤナイ、水産組合ト漁業組合ヲ別ニシタイ

○武市庫太君 サウスルト「設ケベシ」トアッテモ「設ケルヲ得」トアッテモ……
○委員長井上角五郎君 其方デハナイ、水産組合ヲ是ト一緒ニシテ了ハウト云フ意味デアアルノデ、是ニ反對スルト云フノデス、是カラ先ノ方ノ修正ニ就キマシテハ、水産組合ト漁業組合ト二ツニスルカ、一ツニスルカト云フノガ問題デアラウト思フ、先ヅ其問題ヲ御極メヲ願ッテ、斯ウ云フ風ニ直シタラヨカラウト云フコトニ、御極メヲ願ッタラ如何デセウ

○政府委員藤田四郎君 唯今井上角五郎君カラ御話ガアリマシタガ、大勢私共ノ考ト偶然相合フテ居リマス、尙チヨット申上ゲテ置キマスガ、政府案ノ十八條ト二十二條、此二ツノ組合ガアル、此從來アリマス所ノ組合ハ、多クハ製造ト販賣ト一緒ニナッテ居リマスノデ、即チ此四條五條等ニ於テ漁業組合ニ、地先水面ノ許可ヲ與ヘルト云フ方針ヲ執ッテ參ル以上ハ、ドウモ此製造販賣ト一緒ニナッテ往クト云フコトハ穩カデアリマセヌ、サウナリマスト事實ニ於キマシテ、今日各府縣ニ段々組合ガゴザイマシテ、隨分ハ廣イ組合デアアル、サウ云フヤウナハ組合ノ中ニ、組合ノ何部ト云フヤウナモノヲ拵ヘナケレバナラヌト云フ風ノコトヲ生シテ、困難ヲ生ズルデス、デス

ウ云フヤウニ一ツニセラル、ト云フコトハ、大變便利ノヤウニ見ヘマスガ、却テ混雜ヲ來ス基ニナラウト思ヒマスノデ、從來アリマス所ノモノハ、二十二條ノ方ニ依テ支配ヲ受ケテ往キマスノデ、ソレデアリマスカラ、附則ニモソレ丈ノ規則ヲ設ケテアリマス、即チ三十六條ニ規定モアル次第デアリマスカラ、此法律ヲ行フニ困難ヲ生ジ、又當業者モ實際ニ於テ迷惑スルダラウト思ヒマスカラドウカハ原案ヲ……

○門馬尙經君 私ハ是ハ御味方黨ニナリマシテ、原案ヲ賛成致シマス

○武市庫太君 チヨット西原君ニ御尋ネシマス、此修正案ハ少シ御述ベニナツタ御趣意ト違ヒハシマセヌカ、何故ト云フニ、此修正案ニ據リマス「漁業者ハ」トアル、ソレカラ原案ノ二十二條ニ據リマス「漁業者又ハ水産動植物ノ製造若クハ販賣ヲ業トスル者ガ、水産組合ヲ設ケルト云フ規定ガアル、ソレカラ照スト此修正案ノ「漁業者ハ」トアルハ、單ニ漁業ヲスルモノバカリデ、製造スルノハ此中ニ含蓄シナイ、サウスルト今政府ノ出サレテ居ル十八條ノ通り、漁業者ノ漁業法組合ヲ設ケルト云フコトニナル

○西原清東君 政府ノ案ニ未ダ修正ノ意見ヲ全部述べサルニ當ッテ、既ニ述べタルモノトシテ御駁議ガアリマシタガ、私ハ後ノ條ニ至ッテ、修正ヲ述べヤウト思フテ居ル、所ガ魚類ノ販賣トカ製造トカ云フヤウナ、漁業者ニ接近シタル業務ノ人ヲ、漁業組合ニ加ヘルト云フコトハ、漁業ヲ發達セシムルタメニ、或ハ其地方ノ物産ヲ發達セシムルタメニ必要ナコトデアアル、サウ云フ場合ニハ行政官廳ガ其必要ヲ認メタトキニハ、組合ニ加入セシメタル又紛議ガアツテ、其利ハ其害ヲ償フコトガ出來ナイト見レバ、命令ヲ發シナイガ宜シイノデアアル、ソレハ丁度議員提出案ノ第十八條ニ「左ノ各號ニ該當スルモノヲシテ組合ニ加入セシムルコトヲ得」トシテアル、サウ云フヤウニ修正スル積リデ此組合ハ今武市サシノ言ハレマス通り、第十八條ニアル行政官廳ガ必要ヲ認メタトキハ、販賣及製造業者ヲ組合ニ加入セシムルト云フコトヲ、行政官廳ニ法律ガ讓ルノデス、ソレデアアルカラ便宜ダト思ヘバ、組合ニ加ヘナケレバ宜イノデスカラ、其邊ヲ以テ弊害ガアルト云フ御議論ハ、少シモ理由ハナイノデアリマス

○林喬君 政府案ノ十八條ニ「一定ノ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者」トアリマスガ、今甲ノ村ニ籍ヲ定メテ居ル漁業者デアツテ、サウシテ甲乙丙戌己ト云フ如キ、各村浦濱アタリノ地先水面デ、漁業ヲナスノ特權ヲ有シテ居ル漁業ガアルノデゴザイマス、實際ノ上ニ於テ——ソレハハ戶籍ノアリマス所ノ土地ノ組合ニアリサヘスレバ、アトノ乙丙丁ノ方ヘハ加入シナクテモ宜イト云フコトニ、此法文デハナルノデゴザイマス、盡ク其地先水面ヘ出レバ、又其組合ヘ這入ラナケレバナラヌカト云フ疑ガアルノデス

○政府委員牧朴眞君 御答致シマス、仰セノ通住所ノ定メタル所ノ組合ニ這入ッテ居リマスレバ、他ニ出掛ケテ漁業ヲシマスルトキニ、又其組合ニ這入ルト云フ必要ハナイト思ヒマス、唯其漁村ニ於テ漁業ノ競争ヲ保護スルガタ

メニ、漁業組合ヲ設ケルノデアリマスカラ、其住所ヲ定メテ居ル組合ニ這入テ居リマスレバ、外ノ組合ニ這入ル必要ハナイト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 チヨット此席カラ申シマスガ、水産組合ト漁業組合ハ一ツニスルカ、二ツニスルカト云フ問題デゴザイマシテ、二ツニスルニシマシテモ、其組合ハ行政官廳ノ指定ニ依ル、前項ノ區域ニ依リ難キ場合ニ於テハ、關係同業者ハ特ニ主務大臣ノ認可ヲ經テ——是ハ漁業者ト云フ言葉ガ惡ルイカ知レマセヌガ、認可ヲ受ケト云フ西原君ノ動議ヲ採ル必要ガアルト思ヒマスカラ、先ヅ此組合ハ二ツ置クガ宜イカ、一ツ置クガ宜イカト云フコトヲ採決シマシテ、二ツ置クニナリマスレバ、モウ二十何條ニ對スル西原君ノ修正ハ出ナクナリマスカラ、之ヲ問題ニ致シマス

(採決「ト呼フ者アリ」)

○委員長(井上角五郎君) 然ラバ漁業組合ハ漁業組合ダケデアアル、水産組合ハ別ニスル——一緒ニスルト云フノガ本旨デゴザイマスガ、西原君ノ說ノ如ク一緒ニスルト云フニ、御賛成ノ御方ノ起立ヲ乞ヒマス

起立者 少數

○委員長井上角五郎君 三人ノヤウデゴザイマス、ソレデハ少數デゴザイマスカラ、原案ノ通ニシマシテ、西原サシドウデセウ、原案ニアナタノヤウナ意味デ、修正ヲ加ヘルト云フコトハ

○西原清東君 宜シウゴザイマス、意見ハゴザイマセヌ

○委員長井上角五郎君 何如デセウカ、原案デ別段御異議ハアリマセヌカ

○武市庫太君 私ハ此原案ノ「設置スルコトヲ得」ト云フコトヲ止メマシテ「設置スベシ」ト云フコトニシタイ

○委員長井上角五郎君 此十八條ニ對シマシテハ、高木君ノ議論ガ一ツ出テ居リマス、ソレハ丁度第四條ノトキニ、數箇ノ組合連合シ云々ト云フ修正ガ出マシタノニ就イテ、政府委員ノ答ガアリマシタノニ聯關シタル問題デアアルカラ、無論茲デ議スル必要ハナカラウト思ヒマスカラ、長クモゴザイマスシ、別段修正ノ法文ハ讀ミマセヌ、サウスレバ別段御異議モナイヤウデアリマスカラ、十八條ハ原案ニ極メマス、宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 第十九條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 第二十條

○西原清東君 「其他先水面ノ專用」ト云フ文字ヲ取リマシテ其代リニ「漁業權」ト云フ二字ヲ入レタイト思ヒマス、即チ斯ウ云ウノデス「漁業組合ハ漁業權ノ免許ヲ受ケタルトキハ」ナゼナレバ漁業組合ニ於キマシテ免許ヲ受クルノハ、必ズシモ地先專用權ノ有無ニハ限ラヌカラ、他ノ所デモ捕獲漁業トカ云フコトニシテ請願ヲスルト云フコトモアルシ、又地先水面ニハ限ラヌカラ、地先水面ヨリハ進ンデ、從來ノ慣行ニ依ッテ免許ヲ受ケルト云フコトガ

アリマス、決シテ地先水面ノ専用ノミト限ツタコトハナイト考ヘマス
○委員長井上角五郎君 如何デゴザイマスカ
(賛成「ト呼フ者アリ」)

○政府委員牧村眞君 チョット私ハ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、大舛ニ於テ格別反對ヲ唱ヘル譯デハアリマセヌガ、「權」トスルト、少々事實ニ於テ差支ガ起リハシナイカト考ヘルコトガゴザイマス、一舛此組合ハ唯地先水面ノ漁業バカリデハナイ、即チ第三條ノ漁業ヲ許シマス場合ガゴザイマス、實際此近傍ノ例デ見マスルニ、伊豆アタリニハ到ル所ゴザイマス、或ハ其組合即チ漁村ニ於テ堅網臺網等ヲ定置シテアリマス、是ハ矢張免許ヲ組合デ受ケマスル、即チ漁業權ノ免許ヲ受ケル、此漁業權ノ免許ヲ受ケル時ニ、必ズ組合員ヲシテ堅網臺網ノコトヲヤラセルコトハ、實際行ハレヌデモアリマセヌガ、行ヒ惡イコトデヤラウト思ヒマス、ソレデ之ハ他ニ貸シマシテモ、又外ノ者ニサセマシテモ差支ナイコト、思ヒマスシ、又實際モ其組合ニ非ズシテ他ノモノニ漁業ヲサセテ居ルコトガ、實際ノ例ニ於テ澤山ゴザイマス、ソレニ此漁業權ノ免許ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナツデシマウト、サウ云フモノハ悉ク必ズ組合内デ、漁業ヲサセナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、實際ノ慣例ニモ背キ、事實面倒ノコト、考ヘマス、故ニ是ハ原案ニ於キマシテハ、地先水面ノ漁業即チ海藻ヲ採ルコト、鮑ヲ採ルコト云フガ如キコトハ、總テ其村ノ者ニサセル、斯ウ云フコトニシマシテ、其他ノコトハ他ノ者ニサセマシテ、其賃銀ヲ取ルコトハ更ニ差支ナイ、斯ウ云フコトニシテゴザイマス、一應申上ゲテ置キマス、或ハ實際ニ困リハセヌカト考ヘマスカラ、チョット……

○西原清東君 本文ハ漁業組合自ラガ業務ノ行爲ヲサセナイト云フノ趣意デアル、其漁業權ヲ自ラ實行スルトキハ、即チ賃銀トカ云フヤウナ、他ヘ貸ト云フハ格別、サウ云フコトノナイ時ニハ組合ノモノニヤラス、斯ウ云フコトデゴザイマスカラ、他ノ法文ニ賃貸ト云フコトヲ許ス以上ハ、借りタ者ガヤルノデスカラ、少シモ不便ヲ生ズルコトハナイト思ヒマス、ソレデ地先水面ノ専用ト云フ事柄ヲ、漁業權ト云フ廣キ文字ヲ用井テモ、今政府委員ノ御話ニナツタヤウナ不便ヲ感ズルコトハ、實地ニアルマイト思ヒマス

○橋元島君 私ハ今ノ修正ハ、廣クナツテ宜イヤウデスケレドモ、ドウモ政府委員ノ説明ヲ聞イテ見ルト、實際差支ヲ生ズル場合ガアルヤウニ思ヒマス、單ニ漁業權ト云フコトデ、廣イコトニシテ置クト、政府委員ノ言ハレル通、總テ漁業ヲ組合員自ラガ爲ス場合ニ於テ、他ノ組合ノ人ト共同シテヤラナケレバナラヌ必要ガ、實際アルノデス、然ルニ修正ノヤウニスルト、他ノ組合員ニ漁業權ノコトヲヤラセルコトガ出來ヌヤウニナルト思ヒマス、ソレデ事實ニ於テ他町村ノ者ト共同シテ、隨分事業ヲ爲シテ居ル者ガ往々アル、故ニ是ハ矢張原案ノ如ク、地先水面ノ専用ダケノコトニシテ置イテ、他ノ事柄ハ茲ニ規定ヲセヌ方ガ、却テ漁業者ニ便利デアラウト思ヒマスカラ、私ハ

原案ニ賛成シテ置キマス

○西原清東君 修正ヲ取消シマス

○委員長井上角五郎君 ヲレデハハ原案ニ極メマセウ、第二十一條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 ヲレデハ第二十二條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 ヲレデハ第二十三條ニ移リマス

○西原清東君 是ニ修正ガアリマス「漁業免許」ノ下ヘ「又ハ其更新ヲ」ト加ヘタイ、ソレカラ「若ハ」以下ヲ消ス「若ハ」カラ「處分ニ不服ナルトキ」マデ削ルノデス、即チ「又ハ第八條第九條若ハ第十四條第二項ノ受ケタル者」トナルノデス、ソレカラ其末項ニ於テ「權利」ノ上ニ「違法ニ」ト云フ三字ガアリマス、之ヲ削除シタイ權利ヲ傷害セラレタト云フ事實ニ依ツテ、訴ヲ起シテ救済ヲ求メルノ途ヲ開クノデアリマス、此理由ハ後ノ條文ニモ數多アリマスカラ申シテ置キマスガ、我國ノ行政裁判ノ原則ト云フノハ、無論違法處分ニ依ツテ權利ヲ傷害セラレタ者ニ、行政裁判ヲ許スト云フノガ原則デアリマシテ、其原則ノ他ニハ特別ノ法律命令ニ依ツテ、行政裁判ヲ許シタ場合ヲ除クノ外ト云フコトガ、例外トシテ認メラレテ居リマス、サウシテサウ云フ例外ニ依ツテ見マスルト、或ハ所得稅法ノ第三十九條、即チ所得ヲ認定セラレタ場合ニ、其認定額ニ不服ナ者ハ行政裁判所ニ直チニ訴ヘル、即チ「不服アル者」ト書イテアリマス、ソレカラ森林法ノ第十八條ニ保安林ニ編入セラレタコトニ不服アル者トアル、違法デナクテモ、ソレガ不服ナラバ宜イ、或ハ國有林下戻法ノ第六條ニモ其通、ソレカラ國有林野法ノ第七條ニモ、其境界ノ査定ニ附イテ不服ナル者トアリマス、ソレカラ鑛業條例ナドニモ皆不服アル者ハトアリマス、特別ノ規定ニ依ツテ即チ衆人ノ權利ヲ害スルト云フ行政處分ガアレバ、其處分ニ對シテ救済ノ途ヲ開カナケレバナラヌ、茲ニ「違法ニ」ト云フ文字ト「權利ヲ傷害セラレタ」ト云フ文字ト並ベテ書クト、許ヲナス門戸ガ大變狹クナル、斯ウ云フ文字ヲ用井ルト、殆ド免許ヲ拒絕セラレ、或ハ更新ヲ拒否セラレタ者ハ、是ハ行政官ノ職權ニアルカラト言ツテ、一喝ノ下ニ却下セラル、ノデアツテ、到底權利ノ回復ガ出來ヌデアリマス、他ノ法律例ナドヲ見ルト「違法ニ」ト云フ文字ヲ特ニ加ヘテアルノハ、昨年ノ土地用法其他一二ノ法文例ハアリマセウガ、概ネ斯ウ云フヤウナ特別法ノ規定ニ——勿論其性質タル違法處分ヲ救済スルニアリマスケレドモガ、權利ヲ傷害スルノ事實ガアレバ、是ハ既ニ違法處分デアリマス、我國ノ今日迄權利思想ノ發達シテ居ル程度ニ於テ、一個人ノ權利トナツテ居ルモノヲ、如何ニ公益ノタメダカラト言ツテ、ドシノ、一個人ノ權利ヲ傷害セラレマシテ其傷害セラレタ者ガ訴フル途ガナイト云フヤウナ專制的ナ立法例ハ、甚ダアルベカラザルコトデアラウト考ヘマス、故ニ「違法ニ」ト云フ文字ガナクテモ、權利ヲ傷害セラレタト云フ事實ガアレバ、ソレニ依ツテ其事既ニ違法デアルト看做シテ、行政訴訟ヲ提起スルノ門戸ヲ開イテ宜カ

ロウト思ヒマス、ツレデ私ハ此本法ニ數多アリマスガ「違法ニ」ト云フ文字ハ「權利ヲ傷害セラレタリトスル」トアル以上ハ、ツレデ澤山デアリマスカラ「違法ニ」ト云フ三字ヲ削リタイト思ヒマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○橋元島君 私ハ此條ニ少シ修正ガアリマス、漁業免許又ハ更新ヲト云フ御修正デスガ、其更新ノ拒否ト云フ「拒ム」ト云フ字ヲ「許ス」ト云フ字ニ改メタイ「更新ヲ」ト云フノヲ「ニシテ」拒ム「ヲ」許ス「ト」改メタイ、サウシテ「セラレタル」ト云フノヲ「ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者」ト、斯ウ修正シタイ、是ハ昨年貴族院ノ修正ノ通りニ、此所ヲ直サウト云フノデ、何故ニ斯ウシナケレバナラヌト云フニ、若シ新タニ漁業ヲ政府ガ許シタコトニ附イテ、既ニ業ニ權利ヲ得テ居ル、其漁業ニ對シテ隨分漁業ヲ妨ゲルカ種々ナル關係ガアリマス、ツレガタメニ害ヲ受ケル者ガ現ニアル、ツレガアリマシテモ此法文デハ、決シテ是ガ訴訟ヲスルコトノ出來ヌコトニナツテシマウ、一方害ヲ受ケナガラ、ツレヲ訴願訴訟スルコトガ出來ヌト云フハ、甚ダ不都合デアリマス、今現ニ自分ガ新タニ願出シタ者ヨリカ、從來ヨリ既得シテ居ル所ノ權利ノ傷害ガアツテモ、之ヲ救済スルコトノ道ガナイト云フコトハ、甚ダ不都合デアラウト思ヒマスカラ、私ハ斯ウ修正ヲ致シタイ

○政府委員牧村眞君 西原君ト橋元君カラ修正説ガ出マシタガ、西原君ノ修正説カラ申シマス「又ハ其更新ヲ」ト云フ字ヲ入レルト云フコトニ附イテハ、強イテ私ハ異論ヲ唱ヘマセヌ、第二項ノ「違法ニ權利ヲ傷害スル」ト云フ「違法」ノ字ヲ取ルト云フコトハ、能ク記憶致シマセヌガ、西原君ガ御調べニナツテ居リマスガ、他ノ特別法律ニ一ツ二ツハ違法ト云フコトガ書イテナイノガアルト思ヒマス、此事ニ付イテハ昨年モ一昨年モ貴族院ニ於テ斯ウ云フ議論ガアリマシタコトデ、元來憲法ノ第六十一條ニ「行政官廳ノ違法處分ニヨリ權利ヲ傷害セラレタリトスル訴訟ニシテ別ニ法律ヲ以テ定メタル行政裁判所ノ裁判ニ屬スベキモノハ司法裁判所ニ於テ受理スルノ限リニ在ラス」トアリマシテ、行政裁判所ハ必ズ違法處分ニ由テ權利ヲ傷害サレタモノデナケレバ、行政裁判所デ受理シナイト云フコトニナツテ居リマスノデ、ツレデ是非違法ト云フコトヲ入レナケレバ、唯ダ權利ヲ傷害サレタト云フコトデ訴訟致シマシタ所ガ、行政裁判所ハ違法ノコトガゴザイマセヌト、受理ハシナイデアラウト思ヒマス、尤モ西原君ノ御説明デモ、權利ヲ傷害サレタト云フ中ニ、違法ノ字ハ含マレテ居ルト云フコトデアリマスガ、意味ニ於テハ違法ヒマセヌガ、大抵、近來ハ違法處分ト云フコトヲ付ケマスコトニナツテ居リマス、現ニ昨年モ行政裁判所ノ評定官ノ方々ガ委員ノ中デアリマシタガ、憲法ノ明文ニ依ッテ違法處分ト云フコトガ書イテナケレバ、行政裁判所デ受理スルコトガ出來ヌト云フ論ガ大分ゴザイマシタ、ツレデ今日ハ皆違法ト云フコトヲ書加ヘマスコトニ致シテ居リマス、尙事實ニ於テ異リマセヌコトナレバ、矢張違法ト云フ文字ヲ加ヘテ置キマセヌ方ガ、安心デアラウト思ヒマスカラ、ドウカ原案

ノ通ニ違法ト云フ字ヲ加ヘルコトニシタイト思ヒマス、御説明ノ趣旨ト私ノ趣旨ト、趣旨ニ於テハ異リマセヌ、又橋元君カラ修正説ガ出マシタガ、是ハ今度ノ本案ニハゴザイマセヌガ、昨年ノ本案ニハ「政府カラ出シタ案ニハ「許否ニ關スル利害ノ關係ヲ有スルモノ」ト云フコトヲ、出シデアリマス以上デアリマスカラ、強イテ反對ハ唱ヘマセヌ

○西原清東君 「違法」ト云フ文字ヲ除イタ時ハ、行政裁判所ガ受理セヌヤウニナラシカト云フ御話デゴザイマスガ、特別法ニ於テ行政上ノ訴ヲナスコトヲ許スト云フコトヲ、此ニ明記シテアルニ、違法ノ文字ガナケレバ、行政裁判所カ刳ネルト云フコトハ、トンデモナイ御議論ト思ヒマス「違法」ト云フ文字ヲ置イタ時ハ、ドウ云フコトガ違法ニ當ルカト云フニ付イテ御説明ニ、命令ヲ以テ定メル所ノ、即チ手續ニ缺ダタ時ト云フヤウナコトヲ、説明セラレタノデアリマスガ、手續ニ缺ダナクシテ政府ガナシ得ルダケノ手續ハ履ンデ、而シテ一個人ノ得テ居ル權利ヲ害シタ時ハドウナサイマスカ、其時ハ御前ノ權利ハ害シタガ、私ノシタ手續ハ能ク履ンデ居ル、而シテ漁業法ニ制限スルコトヲ得ルトカ、取消ヲスルコトヲ得ルト云フコトガアル、其法律ニ依テヤツタノデアルト云ハ、如何ニ權利ヲ毀損セラレマシテモ、例ヘバ生キタ問題ナレバ、愛知縣ガ三重縣海面ニ於テ、或ル一種ノ漁業權ヲ農商務省ヨリ與ヘラレタ所デ、三重縣ノ漁民ガ訴ヘテ往々ナラバ、農商務省ハ斯ウ言フデセウ、私ハ許スダケノ手續ハ履ンデ許シタ、私ガ許スコトハ此漁業法ニ於テ規定セラレテ居ル、毫モ法律ノ手續ニ觸レテ居ナイ、御前ガ權利ヲ毀損セラレテモ、權利ヲ毀損セラレタ事實ガアツテモ、之ヲ救済スルコトガ出來ヌ、唯ダ「違法」ト云フ文字ニ固着シテ、特ニ手續ニ觸レナケレバ構ハヌト云フ辯解ヲ與ヘルコトニナル、其權利ヲ毀損スレバ其事既ニ違法デアルニ、ツレノ別段ニ手續ニ觸レナケレバナラヌト云フ議論ヲ構ヘテ來マシテ、私權ヲ侵害スルコトヲ頓着ナク行政權デアルノ端ヲ開キマスカラ、サウ云フコトニナラヌタメニ、權利ヲ侵害スレバ其事既ニ違法デアアル、ツレデ行政裁判ヲ許スト云フコトニ規定シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員藤田四郎君 此「違法」ト云フ字ヲ入レマシタ必要ハ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、憲法ニ於テモサウデゴザイマスガ、此行政裁判所ト云フモノハ、事實問題ニ立入ッテ議論ヲシナイト云フノガ根本デアアル、即チ行政官廳ガナス行為ガ、違法デアッタ場合ヨリシナイト云フノガ基礎デアアル、或問題ニ付イテ訴訟ガ起ツタ、其訴訟ニ付イテ實地ニ就イテヤルト云フヤウナ、普通ノ裁判所ガスルヤウナ仕事ハシナイノデアアル、ツレデ稍モ御心配ノヤウナ、幾許カ或點ニ於テハ狹マル意味ガアル、又アラナケレバナラヌ、行政裁判所ガ事實問題ニ立入ッテ決定ヲ與ヘベキモノデナイ、憲法ハ其精神ニ依ッテ違法處分ト云フコトヲ書イタノデアアル、ツレデ貴族院ニ於テモ違法ト云フ字ヲ入レルト云フコトヲ主張セラレタノハ、全ク其意味ニ外ナラヌ、即チ行政裁判所ノ權限ヲ縮メテ居ル譯デアリマス、事實問題ニ附イテ是非ヲ極メルト云フヤ

ウナコトハ、行政官ノ權能ニ屬スル、ツレニ立入ッテヤルコトハセヌ、其事ニ違法ノ處分ガアツタ時ハ、總テノ手續ハ皆ナ法律ノ中デアリマスカラ、ツレハ違法ノ中ニ這入リマスガ、併ナガラ其以外ノ即チ事實問題ニ立入ッテノ事柄ハ、行政裁判所ノ爲スベキ職務デナイ、故ニ之レガナイカラト云ッテモ、憲法ニツレ丈ノ規定ガアルカラ、違法ト云フ以外ニ涉ルベキモノトハ思ハナイ、現ニサウ云フ方針ヲ執ッテ居ル、故ニ是ハ「違法」ト云フ文字ヲ入レタ方ガ穩デアラウト思フ

○西原清東君 サウ云フ御考デ、人ノ權利ヲ傷害スル行爲ハ、政府ニ於テモ違法ト見テ居ラルル以上ハ、無論權利ヲ傷害サレテ救済ヲ求メテ訴ヘル、ツレハ誰ガ傷害シタカト云ヘバ、行政處分シタノデアアル、一韓日本ノ法律ハ人ノ權利ハ傷害セラレヌト云フ、禁止法ヲ設ケル馬鹿ハナイ、即チ人ノ權利ヲ損害スルコトハナイト云フ禁止ノナイ以上ハ、權利ヲ侵害シテ居ルナラバ、明文ニ觸レナクモ違法デアルデス、ダカラ權利ヲ侵害セラレタトスル訴ナラバ、既ニ業ニ違法處分デ憲法ノ明文ニ基イテ、行政裁判所デ審判スルノハ勿論デアアル、故ニ違法ト云フコトヲ加ヘタナラバ、訴ノ門戸ガ縮小サレル、是ハ藤田政府委員ニ於テモ御認メニナル所デアアル、ツレハ法律文或ハ命令文ノ規定ニ觸レタ場合デナケレバ、權利ヲ害シタト云ッテ訴ヘルコトガ出來ヌト云フト、餘程窮窟ナコトニナッテ、人民ノ權利ハ行政官ニ蹂躪セラルル端緒ヲ啓クト思ヒマスカラ、私ハ重ネテ修正意見ヲ……

○委員長井上角五郎君 採決致シマス、十二時ニナリマシタケレドモ、モウ僅カデアリマスカラ、終リタイ積リデゴザイマス、「拒否セラレタル者」若クハ「ト云フ丈ガ生キテ」第七條第三項「ト云フ所カラ」又ハ「マデ」是ハ議論ヲ用井上條ノ結果トシテ、當然消ヘマスカラ議論ノナイコトデス、ツレカラ一ツハ「漁業免許又ハ其更新ニ關シ利害ノ關係ヲ有スル者若クハ」ト云フヤウニシヤウト云フ橋元君ノ説ト「漁業免許又ハ拒否セラレタル者若クハ」其下ハ勿論同ジデ、斯ウ云フ兩説ニナッテ居リマスノデ、第二項ハ別ニ致シマシテ、西原君ノ説カラ採決致シマス、西原君ノ説ニ御同意ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長井上角五郎君 多數、第二項ニ移リマシテ「前項ノ處分ニ依リ違法ニ」ト云フ此三字ヲ除キタイト云フ西原君ノ説、是ニ御同意ノ諸君ハ舉手

舉手者 多數

○委員長井上角五郎君 多數、第二十三條「漁業免許若クハ其法示ヲ拒否セラレタル者又ハ第八條第九條」斯ウナリマス、ツレデハ第二十四條

○西原清東君 然ルベク其法文ノ整理ヲ爲サウニ御願シタウゴザイマス

○委員長井上角五郎君 第二十三條ハ前條ノ結果トシテ「漁業組合ノ許可若クハ其法示ニ依リ」ト云フ字ガ加ッテ、前條修正ノ結果、御異議ハアリマセヌカ

○橋元昂君 此二十四條ノ「權利ヲ傷害セラレタル」ト云フノハ、是ハ直接關

係者ノモノコトデアッテ、他ノ第三者ト云フ者ニ就イテハ行政訴訟ヲ許サナイト云フ趣意デスカ

○政府委員牧朴眞君 第三者ノ方カラモ出來マス

○委員長井上角五郎君 第二十五條ニ移リマス

○委員長井上角五郎君 第二十六條、此第二十六條ハ第二項ニ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリト云フ字ガアリマス「違法ニ」ノ三字ヲ削リマシテ、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○西原清東君 「漁場ノ區域其他」ト云フ「其他」ト云フ字ヲ削ッテ、直チニ「漁場ノ區域漁業權ノ範圍又ハ漁業ノ方法」ト云フ文字ヲ挿入シタイ「漁業權者」ト云フ「權」ノ字ヲ除イテ漁業者ヨリ「拒否ノ權アルトキ」ヲ削除シ「官廳」ヨリ直チニ「關係者ヨリ行政官廳ニ採決ヲ申請スルコトヲ得」第二項ノ「違法ニ」ト云フ字ヲ削ル、此法文ノ趣意ハ漁業ノ方法ト云フコトヲ加フルノガ主眼デアアル、先程牧サシノ御説明デ、漁業ノ範圍ト云フ中ニ、方法ガ含ムト云フ御説明ガアリマシタガ、權利ノ範圍ト云フコトニ、權利ヲ行使スルノ方法ト云フコトハ、事實ニ就イテ區別ガ出來ルト思フ、詰リ漁業權ノ種類トカ區別ト云フコトハ、範圍デ出來ルシ、ツレカラ如何ナル船ヲ造ルトカ云フヤウナ事柄ハ、方法デゴザイマスカラ、方法ハ明カニ書イテ是ハ當リ前ヲ云フナラバ、民事裁判所ニ屬スル事柄ヲ、行政ノ官廳ノ採決ニセサル譯デ、管轄ニ就イテ紛議ガ起ラウト云フ恐ガアリマスカラ、明瞭ニ漁業權ノ範圍ト書イテ、其次ニ對シテハ漁業ノ方法ト、明ラカニ書イテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス、ツレデマア此爭ハ漁業組合ニモアリマスカラ、此漁業權ト書キマス、免許ヲ受ケタ漁業者ノ如キ疑ヲ生ジマス、免許ヲ受ケナイデモ、普通ノ漁業者モ爭ガ出來ル譯デアリマシテ、漁業者ト云フ「權」ノ字ヲ削除シタイト思ヒマス

○橋元昂君 贊成

○武市庫太君 此漁業權ノ範圍ト云フコトガ分リマセヌガ、今西原君ノ御修正ニ據ルト、漁業種類ト云フコトモ規定スル必要ガ起ルト思ヒマスガ、ツレハ此種類ハナイノデアリマスカ

○西原清東君 アルノデアリマス

○委員長井上角五郎君 ツレデハ二十七條ハ西原君ノ修正通り決シマス、第二項「違法」ト云フ字ハ無論削除致シマス、第二十八條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 第二十九條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長井上角五郎君 第三十條

○西原清東君 二十九條ト三十條トノ間ニ、三十條トシテ一條ヲ設ケタイト思フデス、即チ明文ハ「第三條第四條ノ權利ヲ侵害シタル者ハ被害者ノ告訴

ニヨリ六箇月以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス」此理由ハ既ニ民法上ノ處分爲テ許シマシタ所ノ私權ナリト、明カニ法律ガ認メマスル以上ハ、相當ノ法律ノ保護ヲ與ヘナケレバナラヌ譯デア、ソレヲ侵害シタル者ハ即チ被害者ノ訴ニ據テ、禁錮若クハ罰金ノ刑ニ處スルコト云フコトニシテ置キタイト思ヒマス、禁錮ノ刑ニ處スルコト云フ事柄ハ、一昨年ノ政府案ニハ出テ居ッタデアリマス、實ハ此幾分カ舛刑ヲ用井ルコト云フコトヲ得ルコトニシテ置キマセヌト、取締ガ到底出來ナイデアリマス、其人間ヲ其現場デ引致シテ來ルト云フ丈ノコトニナラナケレバナラヌ、罰金ダト到底其人間ヲ取締ルト云フコトガ、殆ド出來ナイデアリマス、漁場ノ秩序ヲ保ツ上カラ云ヒマシテモ、大切デア、罰スルト云フ趣意ハ免モ角、其犯則者ニ舛刑若クハ罰金ヲ必要ニ應ジテスルト云フコトデナケレバ、權利ヲ與ヘタ甲斐ガナクテ、殆ド他人ノ蹂躪ニ任スト云フコトニ陷ルデハナイカト思ヒマス、新タニ此規定ヲ設ケタイト思ヒマスカラ、諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

○橋元島君 此西原君ノ修正ニナリマシタ内「六箇月以下ノ重禁錮又ハ」ト云フ文字ヲ削ル、即チ舛刑ヲ科スルト云フコトハ止メタイト云フ意見デアリマス、之ハ水面ノコトデアリマスカラシテ、其水面ノ漁場ノ境ヲ侵シタトカ侵サヌト云フヤウナコトハ、ナカノ實際ニ於テハ餘程ムヅカシイコトデア、意志ガナクテモ惡意ガナクテモ、風竝ノタメニ人ノ漁場ヘ侵入スル場合ガナイトモ云ヘヌ、サウ云フ今ノ漁場ノコトハ隨分互ニ爭フスルモノデアリマシテ、殊ニ一方ノモノハ取ツテ一方ノモノハ取ラヌト云フト、幾ラカ嫉妬心ト云フ方カラ、之ガ告訴沙汰ガ澤山ニナツテ來ヤウト思ヒマス、惡意ガナクシテ侵入シタモノハ、他日裁判ノ上ニ於テ或ハ無罪トナルカモ知レマセヌガ、兎ニ角裁判ヲ受ケルマデハ拘留トカ何トカ云フコトニナラナケレバナラヌ、誠ニ此舛刑ヲ加ヘルト云フコトニシテ見マスレバ、將來漁業者ノ間ニ非常ノ犯罪沙汰ガ起ツテ來ヤウト思ヒマス、元來斯ウ云フ事柄ハ損害賠償ヲサセレバソレデ宜シイモノデアルト思フ、併ナガラ取締上、或ハ茲ニ刑罰ヲ設ケルト云フ必要ガアルト云フ御論デアリマスカラシテ、私ハ此罰金ト云フ刑罰ヲ加フルコトハ、敢テ差支ナカラウケレドモ、重禁錮ナド、云フ舛刑ヲ加フルコトハ、罪ノ性質ノ上ニ於テモ宜シクナイト考ヘマスカラ、是丈ハ賛成ハ出來マセヌ

○政府委員藤田四郎君 是ハ政府ニ於キマシテモ、數年前調べマシタ時ニ理窟上カラ、既ニ漁業免許ヲ與ヘタ以上ハ、ソレニ依テ罰金ハ科スル位ノコトハシナケレバナラヌト云フコトデ、既ニサウ云フ調査モシタ、即西原君カラサウ云フ御話ガアツタト思ヒマスガ、段々ト此事ニ付イテ考ヘマシタガ、且實際漁場ノ紛議ノ狀況ヲ見マス、或ハ罪ガ輕過ギテ困ル、重クシテ置ケバ罰セラル、コトガナクナルガ、重イ罰ニシテ置イテ下サラヌト、罰セラル、者ガ多クテ困ルト云フテ來タモノガアリマス、オカシナ話デアリマスガ、事實デアリマス、違警罪位ナレバ濟ムカラ罰セラル、ガ、重クナルト檢事ノ方デ

無罪ニナルカラ、其方ニシテ貫ヒタイト云フ次第デアリマスガ、ドウモ考ヘテ見マス、隨分漁場ノ混亂ヲ來ス基ニナリマシテ、實際徒法ニ屬スコトニナルト思ヒマス、是ハ矢張從前ノ通り科料位ノ處ニシマスレバ、行政命令モ出來マス、又必要ガアレバ罰金ヲ科スルコトガ出來マスカラ、此法律ノ内ニ重イ罰金ヲ置クコトハ、實際人ノ畑ノ中ヘ這入ツタ者デモ、實際今日デハ輕イモノデア、スウ云フ海ノコトデアリマスカラ、ドツカラ這入ツタナド、云フコトニナツテ數々混亂ヲ來スコトハ困リマスカラ、先ヅ必要ニ迫ツタ時ニ拵ラウコトニシテ、今日ハ載セヌコトニシテ置キタイト思ヒマス

○委員長井上角五郎君 夫デハ三十條ヲ入レテ、第三條第四條ノ權利ヲ侵害シタルモノハ、被害者ノ告訴ニ依リ六箇月以下ノ重禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス、之ヲ採決シテ決シタラ、橋元君ノヲ採リマス、先ヅ西原君ノ説ニ賛成ノ方ハ手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 七名

○委員長井上角五郎君 少數デス「被害者ノ告訴ニ依リ百圓以下ノ罰金ニ處ス」是ニ賛成ノ御方ハ舉手

舉手者 多數

○委員長井上角五郎君 多數、此次ハ三十條ガ三十一條ニナリマス、別ニ御異議ナイト認メマス、次ハ三十一條ガ三十二條ニナリマス、御異議ナイト認メマス、次ハ附則

○西原清東君 是ハ勅令ヲ以テ定ムト漠然ト書イテアルガ、三十五年一月一日ヨリトスルコトニ出來マセヌカ

○政府委員藤田四郎君 實ハ三年位猶豫ヲ置イテ賞ヒタイノデ——本統ニヤラウトスルト、ナカノ此慣行ヤ何カラ調べル丈デモ……

○委員長井上角五郎君 ドウデス、三十五年四月一日トシテハ……

○政府委員藤田四郎君 夫デハ七月一日トシテ下サイ

○委員長井上角五郎君 夫デハ七月一日デ御異議アリマセヌカ……是デ濟ミマシタ、尙字句ノ所ハ委員長ニ御任セヲ願ヒマス

午後零時二十六分散會

明治三十四年三月十五日印刷

明治三十四年三月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局